

岐阜高専・豊田高専・沼津高専の3校がインドネシア・バンドン工科大学土木環境工学部と第1回ジョイントセミナー「Environmental Sustainability and Disaster Prevention」開催

平成25年11月21日、岐阜、豊田、沼津の3高専は、バンドン工科大学土木環境工学部（以下、ITB-FCEE と略）と標記の第1回ジョイントセミナーを、バンドン工科大学で行った。平成23年11月に岐阜高専がバンドン工科大学と結んだ包括交流協定をきっかけに両校の交流が始まり、日本とインドネシア両国のメガシティが共通して抱える二大課題“Environmental Sustainability”と“Disaster Prevention”に共同で取り組むことを目的に開いたものである。本セミナーは、ITB-FCEE が11月19-20日と開いた国際会議 SIBE 2013 を一日延長する形で開かれた。ITB-FCEE の副学部長・アデスジャフルディン教授と岐阜高専・北田敏廣校長の開会あいさつに続いて、日本側8件（岐阜高専5件、豊田高専1件、沼津高専2件）とITB側8件の講演が行われた。SIBE 2013に参加した日本等の外国大学の教員、ITB教員に加えて、多数のITB大学院学生が参加し、屈託のないITB学生の活発な質問に講演者の応答にも熱がこもった。インドネシアの若人の積極性は、日本人学生にも求められるものと感じた。小規模なセミナーだが、参加者は150名を越えて成功裏に終わり、第2回目の開催を約した。



閉会後の集合写真：1st Joint Seminar of ITB-FCEE and Gifu, Toyota, and Numazu NCTs on Environmental Sustainability and Disaster Prevention.



ITB 創設期に建設された伝統的なホールにて（開会式）
（スカルノ元大統領はバンドン工科大学土木工学科の卒業生である）



ホールのステージにて記念撮影（中央：校長、左側：Dr.Asep、右端 2 人：沼津高専）



キャンパス内には SIBE2013 とジョイントセミナーのバナーが各所に設置



ジョイントセミナー閉会後の記念撮影(校長を挟んで工学部副学部長らが着席)